

高めよう！地域の福祉力

大阪狭山市

社協だより

第69号
発行所

社会福祉法人
大阪狭山市社会福祉協議会
〒589-0021
大阪狭山市今熊1丁目85番地
TEL (072)367-1761

近年、家族機能や地域社会の変容により、福祉的支援を必要とする対象が広がり、地域の連帯感も希薄化しています。地域福祉を推進するためには、公的サービスの充実とともに、住民一人ひとりが日頃から、共に支え合うことのできるつながりを、地域の中で主体的に築いていくことが必要となります。

当社協は、大阪狭山市が策定した「大阪狭山市第2次地域福祉計画」でも運動しながら、住民主体の地域福祉活動の推進やボランティア・市民活動の振興、さらに関係機関や地域住民と協働し、地域の福祉力を高めています。

平成二十二年度 重点目標

① 地域福祉活動計画の実施計画(発展計画)の推進

各地区福祉委員会レベルの実施計画の取り組みに積極的に支援を行うとともに、活動の手引きや小地域ネットワーク活動の事例集を作成します。

② ボランティア活動、市民活動への支援

大阪狭山市市民活動支援センターとボランティア情報の一元化に向けて連携を図ります。

③ 相談支援業務の強化とヒューマン・ケア事業の新たな展開

地域包括支援センター・CSW・日常生活自立支援事業などの相談支援業務を強化し、また公的サービスで対応できないニーズに対して平成3年から支援を行っている「ヒューマン・ケア事業」の充実を図ります。

④ 救急医療情報の活用支援事業

一人暮らしの高齢者や障がい者の自宅での不慮の事故など、緊急時に迅速な救命活動に資するため「緊急医療情報キット(仮称)」を製作し、希望の対象者に配布します。

⑤ 認知症ケア体制及び医療との連携体制の更なる強化

認知症に対する専門医療や介護が必要な人に対して、医療との連携を図り必要なサービスに結びつけていくなど、具体的な支援を行いケア体制の整備をします。

⑥ 災害時の要援護者への対応

「大阪狭山市災害時要援護者支援プラン」に基づき、行政と連携を図ります。

“支えあう 地域福祉活動” 社協会員にご加入下さい

7月から9月は会員募集の強化月間です。
地区福祉委員会を通じて自治会・地区会の協力を得て会費を集めております。
皆さまのご協力をお願いします。

会員区分	正会員	賛助会員	特別会員	組織構成会員
年会費	1,000円	3,000円	5,000円	5,000円

あなたの会費が地域福祉を支えています

会費の約 **67%** は地域に還元され、
下記のような活動に使われています。

地区福祉委員会活動



ふれあい広場や研修会の開催



地域清掃など

小地域ネットワーク活動

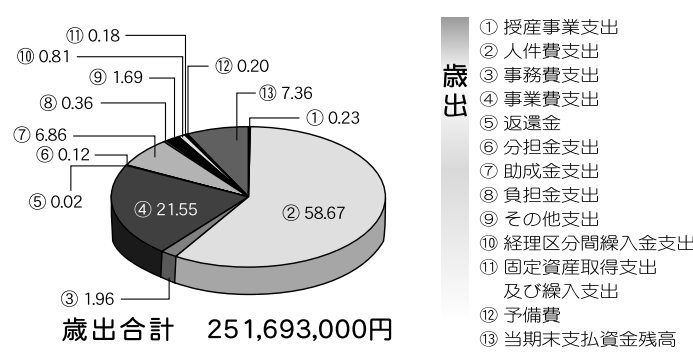
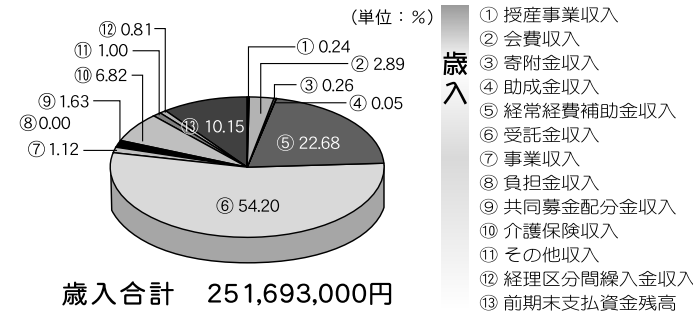


見守り訪問活動・配食サービス




サロン活動・会食サービス

平成22年度一般会計予算



介護保険事業・障がい福祉サービス事業から撤退

この度、居宅介護支援・訪問介護事業所(のぞみ)は、平成22年4月末をもちまして閉鎖しました。
皆様のご厚情を賜り事業を続けてきましたが、諸般の事情により閉鎖しましたこととお詫びしますとともに、これまでご愛顧賜りました皆さまに心より感謝申し上げます。有難うございました。
なお、今後とも市民の皆さまとともに地域福祉を推進する大阪狭山市社会福祉協議会をご支援いただきますよう心からお願い致します。



地区福祉委員会だより

笑いは健康のもと
「お笑い落語鑑賞会」

3月13日(土) SAYAKAホール



開演を待ちわびる...

市内9地区の福祉委員が合同で「お笑い落語鑑賞会」を開催しました。

日頃各地区ごとに行っている福祉事業に取り組んでいますが、年に1度ぐらいは9地区合同で、事業を行うのもいいのではなかいかの考えから笑いは健康のもとと言われる点に注目し、市内70歳以上の方を対象に開催しました。

当日は、ボランティアを含め約890名の方々の参加がありました。



笑福亭仁鶴・月亭八方・桂きん枝他、豪華メンバーの落語に終始会場内は笑いの渦に包ま

れました。

当日参加者にアンケートを実施したところ

97.3%の方からまたこのような機会があれば参加したいとの声をいただきました。

あなたがい善意をありがとうございました

平成22年1月上旬から平成22年3月下旬までに預託をいただきました方のご芳名は左記のとおりです

(敬称略・預託順)

(個人の部)

中田 岩雄 匿名 3件 (4名)

(団体の部)

大阪狭山市産業まつり実行委員会 さやま荘利用者有志の会
シヨップ南海金剛出店者会 日本基督教団金剛教会婦人会

地域包括支援センターだより

平成22年1月より「認知症連携担当者」が配置されました！

大阪府では今後、高齢者人口が全国平均より、はやい速度で増加することが予想され、2025年には240万人、高齢化率は29.7%(約3.4人に1人は65歳以上)になる

と予測されています。その中で認知症高齢者が増加するにつれて、認知症高齢者の増加に伴って認知症高齢者も増加することが指摘されています。

は2025年には、約22万3千人(65歳以上の約11人に1人)になるとの予測となっており、高齢者の増加に伴って認知症高齢者も増加することが指摘されています。それに対応するため認知症高齢者施策において、今後は、認知症高齢者の状態に応じて様々な支援を取り入れながら、認知症高齢者ができる限り

福祉センターだより

プチリフォームを実施！

福祉センターでは、皆さまの利便性・安全性・美観を向上するため、次のような改善を行いました。



福祉センター前に横断歩道が出来ました！

4月1日より敷地内にあった市内循環バス待機所がなくなり、バス停も移動しました。これに伴いBコースの福祉センター前「停留所」から安全に来館できるよう、横断歩道が設置されました。また、バス待機所があった南側の閉鎖を解き、歩行者と自転車のみが通行できるようにしました。



旧バス待機所に駐輪場を設置！

来館者の増加により手狭となつたため、新たに設置しました。

福祉センター内駐輪場の区画ラインを引き直した。

「認知症連携担当者」が配置されています。「認知症連携担当者」は認知症介護に係る専門的な相談・支援を行います。

①地域におけるネットワーク体制の構築。
②医療センターにおいて認知症の確定診断を受けたいご本人、ご家族に対する支援。

③若年性認知症のご本人、ご家族に対する支援。認知症のごことで悩みや相談のある方は、どんな小さな事でも結構ですので

駐車しやすくなりました。さつき荘会議室をリフレッシュ！

室内の壁をクロスに張り替えました。皆さまのご利用を心よりお待ちしております。

敷地内全面禁煙のお知らせ

6月1日より市内の公共施設において敷地内が全面禁煙となります。福祉センターにおいても同様の扱いとなりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

香典返しはぜひ社協へ

社協では、寄付された「香典返し」「内祝い」を地域福祉向上のため、様々な形で地域に還元しております。

- 地域での行事に利用できる貸し出し用備品の購入(現在、テント・イカ焼き機・ポップコーンマシン・綿菓子機等を保有)
 - 福祉機器貸出事業の備品購入(車イス等)
 - 社協で行われる事業への助成
- なお、寄付金は規定により税控除の対象となっています。お礼状につきましては、社会福祉協議会でご用意させていただきます。

☆☆ お問合せ ☎367-1761 ☆☆

貸し出し備品の受付・予約の方法が変わります

- 貸し出し対象
主たる活動拠点が大阪狭山市内の団体(自治会・福祉施設・福祉団体・学校・ボランティア団体等)
- 個人や営利目的への貸し出しは行いません。
- 受付・予約方法
自治会や福祉施設・福祉団体等は、6ヶ月前から。その他の団体は3ヶ月前から。
- 電話による受付・予約はできません。



橋野 建史

市民向け映画上映会

のちの作法

2月25日(木) SAYAKAホール

大阪狭山市民生委員・児童委員協議会、大阪狭山市社会福祉協議会が合同で市民向け映画会を開催しました。この映画は、日本初の高齢者医療費無料化や乳児死亡率ゼロの達成に高い、若手泉沢内村(現西和賀町)の物語です。この中に格差があつてはいけなさと立ち上がった、深沢村長の生命尊重の理念は引き継がれ、今も西和賀町民の心に深く刻まれています。「のちの作法」は約6ヶ月前西和賀の人々に寄り添い撮影されました。そこには、老人や障がい者、そして虐待を受けた子どもたちに向き合う人々の姿が記録されています。

鑑賞された方から次のような声が寄せられました。
★地域全体で福祉や助け合いを追究していく事の大切さを知る映画として勉強になった。
★良かった感動した。多くの人に観てほしい。
★上手に迷惑をかけたこと、今この世の中に必要。

編集後記

介護施設の選び方や生活費はいくら必要かなどなど、いざという時のために基礎知識を持つておきたいと思つた頃である。介護付き有料老人ホームの広告を回す。